

部局名	健康福祉部	所属名	児童発達支援センター	所属長名	佐熊 伸広	電話	488-1111
-----	-------	-----	------------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3170	事務事業名称	児童発達支援センター運営事業				短縮コード	経常	3170	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	05	心身障害児通園施設費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	児童福祉法第43条及び第43条の3。八千代市児童発達支援センターの設置及び管理に関する条例。								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
昭和48年、児童福祉法に基づく肢体不自由児通園施設マザーズホーム、昭和49年5月精神薄弱児通園施設(現児知的障害児通園施設)米本児童学園設置。昭和54年就学義務化に伴い、通所児童(措置児)は就学前児童のみとなった。その後、平成7年4月両施設を統合し、「八千代市児童発達支援センター」とし、障害児の相談体制の充実を図り、総合的な障害児の機関として開始された。 事業内容は、入園児に必要な医療及び機能訓練ならびに日常生活の指導及び訓練、また保護者に対する助言指導を行っている。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	01	健康福祉都市をめざして					
社会状況の変化に伴い、子育て不安を抱える保護者が多くなったことにより相談が増加し、早期発見・早期療育充実が求められてきた。今後も相談は増え、障害児とその家族への支援の充実は必要になってくると考えられる。					大項目(節)	02	社会福祉					
					中項目	03	障害者(児)福祉					
					小項目(施策)	01	障害の発生予防・早期受診、治療					
					細項目	03	治療・療育体制の充実					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	児童福祉法24条の3第2項及び27条第1項第3号、都道府県知事が認めた障害児。その家族。						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 1. 肢体不自由児に対するもの: 児童に必要な医療。機能訓練。日常生活技術・心身の発達に必要な個別的・集団的指導。児童及び卒園児への家族への支援。 2. 知的障害児に対すること: 日常生活の自立及び心身の発達に必要な個別的・集団的指導。機能訓練。児童及び卒園児への家族への支援。 ※平成20年度に計画していること: 同上。						
意図 (何を狙っているのか)	障害児が日常生活の自立に向けて、個々の発達に応じて設定された到達目標に近づくことができる。家族が障害を理解し、家庭内での障害の軽減化を図り、地域で自立した生活をするための援助や情報等を得ることが出来る。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	措置児人数	人	42	41	46	41
	指標2	措置児世帯数	世帯	42	41	46	40
	指標3						
活動指標	指標1	肢体不自由児に集団的指導を実施した日数	日	217	222	220	220
	指標2	機能訓練を実施した延べ回数	回	150	150	219	200
	指標3	知的障害児に集団的指導を実施した日数	日	217	222	220	220
成果指標	指標1	個々の発達の到達目標に対する到達度	%				
	指標2	集団・個別的指導により児童が他の施設に移行できた人数	人	10	13	13	13
	指標3	障害児を育てる上で必要な情報技術を得ることができる	%				
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3170	事務事業名称	児童発達支援センター運営事業			所属名	児童発達支援センター	
	単位	18年度		19年度		20年度		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	3,591	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	8,367	0	0	2,108	
		その他	千円	12,060	25,458	23,000	29,817	
主な事業費の内訳		賃金 10,886千円		賃金 12,352千円		賃金 10,816千円	賃金14,149千円 賄材料費4,971千円委託料 5,155千円	
人件費 (B)		千円	112,724.8	112,569.5	111,312.7	111,312.7		
トータルコスト (A)+(B)		千円	136,742.8	138,027.5	134,312.7	143,237.7		

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	児童発達支援センター運営事業は「障害の発生予防・早期受診、治療」のため「治療・療育体制の充実」にむけ推進しているため結びついている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	障害児は年齢や発達に応じて他の施設（集団）に移行するため、毎年度違う対象（児・集団）となることにより、継続的に事業を運営すべき事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	高度に専門的な療育サービス等を提供しようとする中で障害児等を対象とした福祉サービスの向上を担った事業であり、民間経営に預けた場合には経済性、専門性の面で現行以上のサービス提供は困難であると考えられる。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で結果に結びつく。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	専門職員の増員・記録の簡素化やケース統計のIT処理により事務処理所要時間の短縮を図り療育の機能充実を図るため、検討していく。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し				
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	2			実施主体 (所管部署)		
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3170	事務事業名称	児童発達支援センター運営事業			所属名	児童発達支援センター																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			専門職員の増員・記録の簡素化やケース統計のIT処理により事務処理所要時間の短縮を図り療育の機能充実を図るため、検討していく。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	専門職員の増員・記録の簡素化やケース統計のIT処理により事務処理所要時間の短縮を図り療育の機能充実を図るため検討中であるため、経費・成果は共に不変である。	
		経 費																											
		削 減	不 変	増 加																									
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>①きめ細かな療育に伴う必要な専門職員の配置増希望が強い。</p> <p>②知的障害児の入園希望者の増加が定員（30人）を上回っていることから、早期療育充実の視点より、いつでもサービスの利用が可能となるよう、施設規模の拡充希望が強い。</p>	

所属長コメント	現状に合った定員の見直しや、個別訓練等の確保及び「ことばと発達の相談室」を一体化することにより療育機能が充実するため、施設整備について検討していく。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。IT処理等については費用対効果等の検討を行うべき。